



長谷川 博 議員

- 1、さらなる子ども医療費の拡充を
- 2、子どもの貧困について

Q 9月議会で国の子ども医療費のペナルティー廃止による歳入の増、および29年度から県の補助対象拡大分を子ども医療費拡大に充当するよう求めた。県の助成拡大決定もあって10月から8自治体で拡充を決定。結果、35自治体中、1市13町1村で18歳まで無料化に取り組み現状と

A なる。4月からの実施で、東松島市民にとって大変誇らしい施策となるものだ。
市長 今年9月議会の答弁を踏まえ、検討した結果29年4月1日から18歳まで拡大する。財源は県の補助金を拡大分を充当する。提言の子どもの医療費は議員のライフワークとなつてお

Q 子ども医療費のさらなる拡充を
A 4月から18歳までに拡大する

り、同じ思いである。子育て世帯の経済的支援と子どもの適正な医療機会の確保により保健増進を図る。子育て世帯の笑顔が増えて、子育てに元気が出ればうれしいこと。

子ども医療費助成受給者証	
公費負担者番号	
受給者番号	
対象児	住所
	氏名
	生年月日
有効期限	
市町村名及び印	宮城県 東松島市
交付年月日	
備考	

▲4月から18歳まで医療費無料化 安心子育て、対象は1200人増えます。



▲東矢本駅北側のロータリー



熱海 重徳 議員

- 1、JR東矢本駅の整備について

Q 以前も伺った停車駅の改正について、その後の進展状況を伺う。また、駅を利用しやすくするために北側出入口や駅を境とした南北の車道整備、踏切の安全対策などが今後必要と思われるが市長の考えは。
A 市長 仙石線沿線自治体で構成する同盟会を通じてJR東

日本仙台支店へ要望活動したところ、停車駅については既に課題として認識しており、毎年行われるダイヤ改正等の際に検討していきたいとの回答を頂いた。今後も粘り強く見直しを求めていきたい。

復興交付金の活用は出来ず、財源の確保が課題であった。また駅東側に存在する農業用水路がJR線を横断しており、費用面はもちろん技術的にも困難が予測される。JR側との協議もあり課題は重複している状況であるが、慎重に検討し、解決策を見出したい。

Q JR東矢本駅の整備について
A 慎重に検討し、解決策を見出す